

米空軍士官学校創立60周年と統合幕僚長及び航空幕僚長のご訪問について

1 米空軍士官学校創立60周年

平成26年4月1日、米空軍士官学校は創立60周年を迎えました。空軍士官学校の創立記念日は、1954年4月1日、アイゼンハワー大統領が米空軍士官学校設立の法案に署名した日とされています。創立60周年の記念行事として、4月1日にコンサートが開催された他、4月9日には学生隊によるパレードが実施されました。



記念ロゴ



記念コンサートの様子



学生隊のパレードの様子

(ロゴ及び写真：米空軍士官学校公式フェイスブックより)

米空軍士官学校の沿革（下線は日本にかかると内容）

- 1954年 アイゼンハワー大統領 米空軍士官学校設立法案に署名
- 1955年 デンバー市内のローリー空軍基地臨時訓練場において第1期生の教育開始
- 1958年 コロラドスプリングス市内の新校舎に移転
- 1963年 チャペルが完成
- 1964年 士官候補生受入規模を約2,500人から約4,400人へ拡大
- 1968年 グライダー訓練開始
- 1972年 防衛大学校との間で学生交流（短期派遣）を開始
- 1976年 初めて女性士官候補生が入校
- 1976年 航空自衛隊との間で交換幹部制度を開始（初代交換幹部：竹河内氏）
- 2004年 創立50周年、学校地区の建造物が国定歴史建造物として指定される
- 2007年 防衛大学校との間で学生交流（長期派遣：学期間留学）を開始

(沿革：米空軍士官学校HPより抜粋、日本にかかると内容を加筆)

2 統合幕僚長、航空幕僚長のご訪問

(1) 統合幕僚長

平成26年4月1日、統合幕僚長、岩崎茂空将が、米国及びカナダ公式訪問の一環として空軍士官学校をご訪問されました。その際、4学年の全空軍士官候補生に対し、日米同盟というテーマでご講演を実施されました。結言として、夫婦関係の円熟に時間がかかることと、手入れをしない庭がすぐに荒廃するという比喻を用いて、日米同盟の深化とそのための平素の様々な取り組みの重要性を強調されていました。スピーチ終了時は全学生総立ちで、拍手喝采となりました。



米空軍士官学校での統合幕僚長の講演の様子
(写真：統合幕僚監部ホームページより)

(2) 航空幕僚長の来校

平成26年4月3日、航空幕僚長、齊藤治和空将が、太平洋地域空軍参謀総長等シンポジウムに伴う部隊訪問として、空軍士官学校をご訪問されました。当日は、本校の学生食堂（ミッチェル・ホール）において学生と昼食を共にされた後、空軍士官養成プログラムについてのブリーフィングを受けられました。



太平洋地域の空軍参謀総長等と米空軍士官候補生